



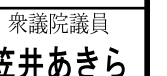
市議会議員 砂田喜昭 Tel 67-4322



参議院議員 たけだ良介



前衆院議員 藤野保史



参議院議員 井上哲士 衆議院議員 笠井あきら 禁無断転載 複製配布

# 12月議会

## 高校生の声が政治を動かす 「石動高校通学路が暗い」

12月議会一般質問が9日、10日に行われ、11名の議員が発言しました。民生文教常任委員会(山室秀隆委員長)の皆さんが石動高校生と話し合いの場を持ち、そこで出された「石動高校の通学路が暗い」などの要望を山室議員が取り上げました。市の答弁が「街灯の電気料負担は地元自治



砂田市議員 質問する 砂田市議員=12月10日

会なので、地元と相談してもらいたい」でした。砂田市議員が関連質問に立ちました。

【砂田市議】 通学路の街灯の電気代について、市が負担するというルールをつくったことがある。街灯をどこに設置するかは、地元と話し合う必要があるが、高校生が「通学路が暗い」といっている、それに答えてその電気代を町内会には負担させないというだけの話だ。市長さん、小矢部市議会との話し合いの場で要望が出された。この高校生の声には答えると、この場で明言して頂きたい。そう

しないと、高校生たちは議員に言ったけれども「なあーん、役に立たなかった」と政治不信になる。そんなことにしたらダメだ。市長にも、その訴えに答える姿勢があつて初めて高校生も、「政治に訴えれば、政治は変わるのだ」と思うようになる。

桜井市長

「その思い受け止め、しっかりと協議」

【桜井市長】 議員、申されるとおりだと思っている。しっかりとその思いを受け止めて、庁内でしっかりと協議していきたい。

議を 砂田市 質問を YouTube で見る ←



### 砂田市議の一般質問(1)

砂田市議は①水道料金の引き下げ、②子ども医療費の窓口無料化の拡充、③コロナ対策でPCR検査の大規模実施、④高齢難聴者への補聴器補助、⑤生理用品の無償配置を取り上げました。

## 水道料金の値下げ

【砂田市議】 高齢の一人暮らしなどで1カ月10㎡の基本水量を使わない家庭が3割にもなる。10㎡以下世帯の平均使用量は4・8㎡で、それでも基本料金月額1782円を払わねばならない。氷見市は基本水量が8㎡、砺波市は基本水量なしである。

小矢部市の基本水量を引き下げるのに必要な財源はいくらか。

【産業建設部長】 8㎡に引き下げするには1100万円余り、5㎡では2900万円余りである。

【砂田市議】 県水の受水量が6%少なくなったことに伴う592万円と境川ダム未利用水負担金1658万1千円でかなりカバーできるのではないか。県水の引き下げに努力し、ぜひ基本水量の引き下げに取り組んでもらいたい。

【産業建設部長】 境川ダムについては現在県企業局と協議している段階で、負担は現在も変わっていない。受水費の縮減については受水団体4市とともに県企業局と協議を進めている。基本水量の引き下げについては現状の営業収益の減少にも直結し、経営に与える影響が大きいことから、慎重に検討すべきものと考えている。



## 難聴者への補聴器補助を

【砂田市議】 全日本年金者組合小矢部支部の皆さんが12月2日、桜井市長に「加齢性難聴者の補聴器購入に対する小矢部市独自の補助制度創設」を求める要請がされた。補聴器は5万円から40万円であり高額である。市独自で補助制度をつくって欲しい。

【民生部長】 県内どこでもまだ実施していない。全国的な問題であり、まずは国・県の制度創設を優先すべきと考えている。

小矢部市は子どものインフルエンザに関するでは県内に先駆けてやったという実績もあり、高齢者の補聴器購入の補助制度についてはまずは国・県に要望して国・県での対応を待つということもあるし、独自に、実施に向けて調査研究をしていきたいという思いである。

## 磁気ループシステムに 複数受信機を



【砂田市議】 市民交流プラザの移動式磁気ループシステムは、難聴の方も話が良く聞こえると評判である。生涯学習講座などでの活用状況はどうか。難聴で講師の話が良く聞き取れず、参加しなくなる例もある。現在その受信機が1台しかない。これを複数台にふやして各種講座

でも活用できるようにしてもらいたい。

【教育委員会事務局長】 Tモード機能

を有する補聴器では、磁気ループシステムで聞こえるようになる。それ以外は専用受信機が必要で、現在1台有しているが、利用者の中から専用受信機が複数台必要との声があり、今後の追加購入を検討したい。

市民交流プラザの生涯学習講座で、磁気ループシステムが使えることを市民に広く周知していきたい。

## 生理用品の無償配置

【砂田市議】 新日本婦人の会小矢部支部(上田由美子支部長)は11月26日、桜井市長と野澤教育長にそれぞれ、中学校や公共施設の子供トイレや多機能トイレに、トイレットペーパーと同じように無償で使える生理用品を配置することなどを要請した。ぜひ新年度予算に具体化して頂きたい。

【桜井市長】 本市としては常備用品として小中学校をはじめとする公共施設のトイレに配備の必要性を認識しており、事業の実施に向けて検討に入っていきます。

